

# 県南支部だより

令和元年9月3日発行  
発行責任者 原田 仁稔  
文責 渡部さゆり

## 特別講演会

8月17日(土)14:30より、労働福祉会館にて令和元年度県南支部特別講演会が開催されました。

はじめに、一般社団法人福島県臨床検査技師会県南支部原田支部長から挨拶があり、総勢70名の参加のもと開催となりました。

福島県臨床検査技師会県南支部  
原田仁稔 支部長



前半は、公立岩瀬病院吉川技師の進行で、令和元年度福島県臨床検査技師会学術奨励賞受賞者2名および県南支部主催の“検査と健康展”についての発表が行われました。



座長  
吉川誠一技師



太田熱海病院  
渡辺美津江 技師



太田西ノ内病院  
星 雅子 技師



坪井病院  
原田仁稔 技師

- 健診腹部超音波検査における精度管理の取り組み  
～腹部超音波検査精度管理調査に参加して～ 太田熱海病院 渡辺美津江技師
- 当院におけるMSBOSとSBOEによる手術血液準備量の検討 太田西ノ内病院 星 雅子技師
- 全国「検査と健康展」IN FUKUSHIMA の報告  
～過去4年間の内容とアンケート結果について～ 坪井病院 原田仁稔技師



特別講演 講師 松本喜一先生



熱心に聴講する会員

後半は、東日本国際大学健康福祉学部教授の松本喜一先生から『仕事と介護を両立できますか～介護離職にならないためのアドバイス～』と題して講演がありました。

介護による離職者は、10年間で2倍以上に増加しているそうです。その理由としては、団塊の世代が70歳を超え、徐々に介護を必要とする年齢に差し掛かってきていることもあげられます。介護離職をしないためには、まず介護に関するさまざまな制度を知ることが必要であり、具体的には、介護保険制度やいざという時の相談窓口となるケアマネージャー、地域医療包括支援センターの存在を知っておくと良いでしょうということでした。

離職による社会的損失は大きく、また離職者にとっても経済状況の悪化や、肉体面、精神面での負担が増えることも懸念されるため、まずは一人で悩まずに相談することが重要とのことでした。

## 懇親会



会場を「庄屋」に移し、講師の松本先生を交えた総勢45名で懇親会となりました。“暑さを吹き飛ばすぞ～”と、早速グラス片手に乾杯。会員相互の親睦を深めました。



### 【編集後記】

今年の夏は暑かったですね。家のエアコンが故障し、えらい目にあいました。秋、いい響き…。